

- ◆企画名 他大学事例研究（立命館大学）
日 程 平成 26 年 12 月 18 日（木）
場 所 立命館大学衣笠キャンパス 至徳館 304 東会議室
参加者数 3 名（ピア・サポーター 2 名、職員 1 名）
目 的

立命館大学において、同大学にて行われているピア・サポート活動の報告会（Assembly for Peer Supporters）が開かれる。報告会は立命館大学に多数存在するピア・サポート団体間の連携をテーマに行われ、報告会に参加することで運営本部の活動の一環であるピア・コミュニティ間の連携の促進について現状を見つめ直し、新しいピア・コミュニティ間の連携を模索する。

内 容

18:30～18:35 開会の挨拶
18:35～18:50 APS の取り組み –APS2013 での気づきと APS2014 開催までの経緯–
18:50～19:05 APS2014 の取り組み –ピア・サポートマップとピア・サポーターズプロフィールの完成まで–
19:05～19:15 ピア・サポーターによる連携のアイデア事例 1
19:15～19:25 ピア・サポーターによる連携のアイデア事例 2
19:25～19:40 本学のピア・サポート活動、APS の取り組みについてのコメント
19:40～19:55 意見交換
19:55～20:00 総評・閉会の挨拶

効 果

関西大学ピア・コミュニティはこれまで、それぞれの分野、領域ごとにコミュニティを分け、コミュニティごとに各々の理念に沿った個性あふれるピア・サポートを展開してきた。ピア・コミュニティ間での必要なコミュニケーションは定期的に行っている代表者会議が担っているが、関西大学内でのコミュニケーションに留まっており、他大学とのピア・サポートを通じた対外的な交流はほとんど出来ずにいる。今回、立命館大学のピア・サポート団体が実施する『Assembly for Peer Supporters』に参加し、他大学がどのような視点でどのようなピア・サポートをされているかを知ることができた。参加できなかったサポーターとの共有の第一歩として、代表者会議を通じて他コミュニティへの報告をおこなった。資料はピアエリアで管理し、誰でも自由に見られるようにした。大いに活用してもらうことで、今後の関西大学におけるピア・サポート活動の視野と可能性を広げていくことに繋がれば良いと思う。

改 善 点

当企画は各コミュニティから 1 名の参加が望ましかったが、実際に参加できたのは運営本部から 2 名のみであった。資料の共有という形での情報や内容の共有はおこなったが、コミュニティによって視点や捉え方は異なってくると思われるので、できれば参加の上で資料を基にした意見交換をした方がより具体的な共有ができると思った。

感 想

立命館大学のピア・サポーターは 3000 名ほどいると事前に聞いていたが、当企画への参加をとおしてその規模の大きさを改めて感じさせられた。しかし大きな規模である故の課題が存在していることも同時に感じた。「他のコミュニティのことを知らない」という課題には、私たち関西大学ピア・コミュニティにも通ずる部分があり、運営本部としてはサポーター一人一人が解消できる策を考えていくべきだと思う。